

四日市版コミュニティスクール報告書（令和 6 年度総括）

四日市市立泊山小学校

校長 渡瀬 幹久

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

平成 29 年 4 月に本校は、四日市市教育委員会から四日市版コミュニティスクールの指定を受け、「泊山小学校運営協議会」（以下運営協議会）を発足させました。

学校づくりビジョンに掲げた学校教育目標「未来を切りひらき、幸せに生きる」子どもの育成のため、学校をご支援いただいている保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、学校教育の一層の充実を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

運営協議会は、今年度から、コミュニティスクールコーディネーターを加え、地域団体代表、自治会代表、主任民生児童委員、PTA 代表、校区内の児童養護施設や母子自立支援施設の代表等 9 名で構成しています。ここに、本校職員が加わり、年間 5 回の会議を実施し、保護者や地域住民の学校教育活動への参画のあり方を協議するとともに、保護者や地域住民の具体的な取組内容や時期等について調整を図っています。

定例の会議では、写真のように、必ず全学級の授業参観を行い、子どもの実態に即した協議を行うようにしています。協議の中で本校の強みや課題について話し合い、充実した教育活動の方向付けを行っています。本年度は、「笑顔と優しさがあふれる学校」にしていくために、授業の様子や校内の環境面の整備、地域協力者との連携についてもご意見をいただきました。協議会の話し合いを受け、バリアフリーのトイレの衛生面を再度確認したり、廊下の棚を修繕したり、教室の掲示物の配置を変えたりして、環境整備に努め、児童の情操を豊かにできるようにしました。

また、ICT を活用した掲示物が多いことを評価していただきました。学力の定着のために、効果的な少人数指導について検討したり、校内の掲示物の工夫や施設内の安全を考えた環境を整えたり、老人会の皆さんを加えた地域協力者の皆さんと 1 年生との交流会を行ったりすることができました。



また、南部丘陵公園を校区に擁する本校では、恵まれた環境を生かす取組

みとして、運営協議会委員長をはじめ地域の「日永梅林を守る会」の方に梅林のお話や梅のちぎる時の注意事項を教えていただきながら、「梅ちぎり」体験を行う予定でしたが、天候不良のため実施ができませんでした。そこで今年度は、1年生と支援学級を中心に生活科の時間に校内にある梅をちぎりました。そして、本年度も支援学級では、「梅シロップづくり」をし、自然の恵みをおいしくいただく体験をしました。

さらに、運営委員がメンバーである地域の自主防災隊の方を講師に招き、講演と防災体験（水消火器と応急担架体験）を行いました。講演では、運営協議会委員長の実体験をふまえながら、校区における災害の様子を語って頂いたり、体験学習ではけが人を想定し、消毒後、竹と毛布で担架を作って実際に運んだりして、防災・減災に対する意識を高めることができました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

(1)に記述した通り、運営委員をはじめ地域の方々にお知恵を借りながら、地域教育資源を生かした特色ある教育を展開できました。

学校の現状については、参観や各種報告を基に理解いただき、適切な助言をいただくことができました。

授業においては、児童が落ち着いて学習している様子や教職員が熱心に授業をしている姿を評価いただきました。特に、少人数習熟度別学習では、各学年に応じた学習形態をご覧になっていただきながら、前年度までの学習内容に積み残しのある児童をどのように指導して基礎学力を身につけさせるのか、工夫ある授業の様子や、少人数の中で生き生きと学習に取り組んでいる子どもたちの様子に感心されていました。

学校の掲示物には、高学年だけでなく、低学年でも学習用タブレットを使った掲示物が多くあり、作品のレイアウトを意識しながら作成したことに高く評価いただきました。

学校の環境整備に関して、掲示物の配置や廊下の棚が老朽化していることやトイレのバリアフリーについてご助言を頂きました。児童が安全で安心して学校生活を送れるように、助言をいただいた後改善をしていきました。

今年度は、全校児童の図工・書写作品を展示する泊展を書写作品は教室前廊下に、図工作品は多目的ホールに変更しました。「明るい色を使った作品が多い。子どもたちの心の安定が見られる。」と作品からみえる安定した学校の様子を評価していただきました。引き続き子どもたちが意欲的に表現活動に取り組めるよう、一人ひとりの思いを大事にした活動を続けていきたいと思います。



朝の読書においては、図書委員による読み聞かせが行われています。また、読み聞かせのボランティアとして約10人の登録をいただいております。保護者や地域の方に、しっとりとした読書の時間を作っていただきました。本に触れ合う機会を多くとることができ、近くに寄って読み聞かせることができるように

なり、本の世界の中に引き込まれている感じが感じられました。

保護者だけでなく地域の方々に温かい目で見守っていただき、声をかけていただくこと、お互いに顔を知ること、子どもたちが安心・安全に生活できる居場所になっていると感じます。

3 今後に向けて

コミュニティスクール運営協議会では、毎回1時間ほど校内の様子を参観し感想をいただいています。コミュニティスクール運営委員からは、学校の環境整備について関心をお持ちになられ、ご意見を多く頂きました。また、今年度は、学習用タブレットを用いた掲示物に関心をもたれ、ICTを取り入れた授業に、ご意見をいただくことができました。

概ね、校内の児童の様子を見られて、「笑顔と優しさのあふれる学校」をめざして、教職員も児童も努力していることを評価していただき、ご理解・ご協力いただいています。また、今年度、地域協力者の皆様とさらに老人会の皆様を加えて域協力者の皆さまと1年生との交流活動についても高く評価していただき、それぞれの学年に応じた交流を今後増やしていけるとよいと言っていました。

来年度も子どもたちの健康面・安全面を最優先にして、保護者・地域の方々と協働し、充実した教育活動を展開できるよう努力していききたいと思います。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 泊山小学校

委員長 小池 儀作

校 長 渡瀬 幹久

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回 運営協議会	校内参観 今年度の学校運営方針について
6	第2回 運営協議会	校内参観 「いじめを許さない」学校にするために
7		
8		
9		
10	第3回 運営協議会	運動会参観 校内参観 全国学力学習状況調査の結果について
11		
12	第4回 運営協議会	校内参観 学校指定物品の見直しについて 防災教室について
1	第5回 運営協議会	泊展参観 年間活動総括及び学校関係者評価
2		
3		